

私の文化考

俳句と環境影響



代表 国枝 隆生

私は俳句を趣味として... IISO環境審査員などに従事してきたことから、俳句においてとりわけ環境面を意識することも多い。以下、その一端を述べてみたい。

俳句には季語があることから四季折々の生活、風景を詠むことが中心となる。日本の四季は豊かで自然の恩恵を受けている面が多い。俳句を作る者にとって日本の環境に感謝せずにはいられない。

ところが近年、地球の温暖化、生物の多様性破壊など環境面への影響が顕著になってきている。

温暖化の一例として田植えを考えてみたい。三重県は他県に比して、もともと稲の開花時期を台風から避ける意味もあって、田植え時期がゴールデンウィークにはほぼ終わっている。これは温暖化によって春でも田植えに必要な気温が確保されるようになったためである。ところがさらなる温暖化によって出穂から登熟期間が高温にさらされることから九州では白米熟粒、胴割れ米が発生しており、三重県でも近い将来このような現象が発生する恐れがある。

また生物多様性については山里を中心としたメダカ、蝶、蟬、燕などの恩恵に恵まれている。

この生物多様性問題は主に人為により、外来生物の搬入による絶滅危惧種の増加、種の交雑、里山の崩壊などが考えられる。

その一例として東員町でもブラックバス、ブルーギルの増加により、在来種の魚が絶滅の危機に瀕している。また近くの池ではカダヤシによつてメダカがほとんどいなくなるなどの影響も深刻である。

このような環境変化による危機は俳人でなくても一市民として考えていく必要があるだろう。

田を植えてみどりの夜を眠りけり

樋口 翠人

水底の明るさ目高みごもれり

橋本多佳子

この二句に挙げられるように自然豊かで、生物の多様性に恵まれて生活をしていきたいものである。

略歴

- 平成12年 俳句結社「風」同人
平成13年 俳句結社「伊吹嶺」同人
現在 「伊吹嶺」同人、環境・ジュニア担当
公益社団法人俳人協会会員・環境委員
公益社団法人俳人協会会員・環境委員

目次

特別寄稿... 1
私の文化考... 2
表紙のことは... 2
連載「続歴史よもやま話」... 3
平成30年度通常総会報告... 4
第25回春の文協まつり... 6
個人作品展... 8
春のチョットいろいろな体験教室... 8
公民館講座、文協講座卒業生作品展... 9
第25回芸能祭... 10
春の文協まつり大茶会... 12
第25回東員町囲碁・将棋大会... 12
イベント情報... 13
東員「日本の第九」合唱団員募集... 13
活動このごろ... 14
トビックス... 14
東員将棋愛好会の種村秀光氏の表彰... 15
プレゼントのお知らせ... 16
近郊おでかけガイド「湯の山温泉」... 17
ミュージアム情報... 19
第37回とういん寄席予告... 20
飛龍東員太鼓 結成30周年記念公演... 20
編集後記... 20

表紙のことは

手作りのウエディングドレスを何着か作りましたが、ピンクのウエディングドレスは私がデザインしたドレスの中で可愛くて、一番気に入っています。これからの手作りのドレスや色々なデザインの洋服を作りたいと思います。

東員町公民館講座 講師 伊藤真実子

都納豆 最優秀賞 農林水産大臣賞 日本黒豆 小杉食品

地域の皆さまとともに歩む 桑名信用金庫 http://www.kuwashin.co.jp 員弁支店 76-2525